

3. 29 Sun
体験MENU

現代家政学科

体験授業の実施時間
11:10-11:55

生活者と社会 × ファッション： 心理学的視点からみる被服行動

被服心理学は、1980年代に
アメリカから日本に
導入されました。
服装には情報伝達の役割が
あると同時に、着る人や
見る人の心を動かす力もあります。
服装の心理・社会的効果を
活用することで、より良い生活を
目指してみましょう。

私たちは毎日、服を着て生活しています。

服装と心理は密接な関係があると
言われています。

**気分や感情によって服装が変わったり、
着る服によって印象が変わったり**します。
被服行動が、どのような心理・社会的機能を
持っているのか、一緒に読み解いてみましょう。

担当：井澤先生、北見先生